



2025年3月19日

株式会社Arent  
東証グロース 5254

---

## 株式会社PlantStreamの完全子会社化完了に関するお知らせ ～ 背景・戦略的意義・今後の見通し ～

---

株式会社Arent（以下、Arent）は、2025年2月25日に発表したとおり、2025年3月17日付で株式会社PlantStream（以下、PlantStream）の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。

本件は、共同出資をしている千代田化工建設株式会社（以下、千代田化工建設）との誠実な協議を経て、PlantStream並びにArentグループのさらなる成長に最適な選択肢として結論に至ったものであり、Arentの中長期成長戦略にとって重要なアクションとなります。

PlantStreamは2025年6月期の上半期売上は399百万円と前年同期比2.57倍となる成長を遂げております。今回の子会社化により意思決定のスピードが向上し、より柔軟な開発・営業戦略の展開が可能となることで、さらなる成長を目指してまいります。

本件について、代表取締役社長 鴨林広軌が解説する動画と説明スライドを公開いたしましたのでぜひご覧ください。

▼代表取締役社長 鴨林広軌による説明動画

<https://youtu.be/Q-4kfETG96o>

▼説明スライド

<https://drive.google.com/file/d/1JarRfOlo9zMKkNHJG9MmHyEWIQ0T4J-w/view?usp=sharing>

## 1. 完全子会社化の背景と意義

### (1) 背景

PlantStreamは、2020年に千代田化工建設株式会社（以下、千代田化工建設）とArentの共同出資により設立され、プラント設計の熟練ノウハウを形式知化した3D CADソフトウェア「PlantStream®」を提供してまいりました。

本ソフトウェアは、配管自動ルーティング機能をはじめとした高度な設計機能を備え、石油・ガス、化学、超純水、電力、製鉄、水素といった幅広い分野のプラント設計に適用され、約10ヶ国・25社のEPCコントラクターやプラントオーナーに導入されており、共創開発によって生み出されたプロダクトの販売を進め、継続可能な事業運営の基盤を整えてまいりました。

### (2) 今回の完全子会社化の意義

PlantStreamは2025年6月期の上半期売上は399百万円と前年同期比2.57倍となる成長を遂げております。PlantStreamの今後の更なる成長を見据え、千代田化工建設と慎重に議論を重ねた結果、「ArentがPlantStreamの全株式を取得することが事業成長に資する」との共通認識に至りました。

今回の子会社化により、PlantStreamの意思決定スピードが向上し、より柔軟な開発・営業戦略の展開が可能となります。また、本株式取得に伴い合併契約は解消されますが、千代田化工建設との技術提携は今後も継続し、両社の強みを活かしたイノベーションを推進してまいります。

## 2. 完全子会社化による戦略的メリット

### (1) M&A戦略との整合性

- 今回の子会社化は、Arentの長期成長戦略の一環として、事業の垂直統合およびソフトウェア領域の強化に寄与すると判断しております。
- PlantStreamの事業成長を成長戦略の一環として組み込むとともに、他のM&A案件やArentとの相乗効果も意識的に狙い、さらなる事業拡大を目指してまいります。

### (2) 経営判断の迅速化・柔軟性の向上

- 迅速な意思決定が可能となり、事業戦略の実行スピードが加速いたします。
  - 例：海外市場への展開強化、営業拠点の新設など。
- 開発リソースの最適化が進み、重要な技術領域への集中投資が可能となります。

### (3) 自社プロダクト「PlantStream®」の価値最大化

- 100%子会社化により、「PlantStream®」はArentの自社プロダクトとなります。これにより、Arentの優秀なエンジニアが開発投資をより柔軟かつ迅速に実行できるようになり、受託開発やカスタマイズ案件の増加につながると考えております。
- ArentとPlantStream間の連携を強化することで、新たな案件の獲得も期待され、特に第1セグメントのプロダクト共創開発案件の獲得に大きく寄与すると考えております。

### (4) 連結業績への影響

- PlantStream事業においては、事業の核となるソフトウェア開発費が費用の多くの割合を占めておりますが、これまでの事業基盤を整えるフェーズから、機能実装が進み成長フェーズへ移行することで、開発投資において費用対効果を考慮した意思決定がしやすくなる見込みです。
- 短期的な業績への影響については慎重に精査中ですが、当期においては、第3四半期までの損益は従来どおりの持分に応じた割合で、第4四半期の損益は連結子会社として100%取り込む予定です。
- 子会社化により、中長期的な連結業績への影響は十分にメリットが生ずるものと判断しておりますが、具体的な業績予想については、本子会社化によるメリットを最大化すべく、中長期の投資計画の再評価と精緻化した上で、開示することを検討しております。
- 今後連結業績に重要な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに通知いたします。

## 3. 株主・投資家の皆様へのメッセージ

PlantStreamの完全子会社化により、Arentのソフトウェアビジネスの競争力が向上し、さらなる成長機会を創出できると考えております。今後も企業価値の向上を意識した成長戦略を推進してまいります。

本件に関する詳細なご質問は、以下の窓口までお問い合わせください。

<本リリースに関するお問い合わせ先>

株式会社Arent IR  
ir@arent3d.com